



小型 CAN-USB 変換モジュール最新版販売開始

— 当社公道走行データ収集・自動運転公道実証実験・宅配ロボットで活用 —

株式会社 ZMP (東京都文京区、代表取締役社長：谷口 恒、以下 ZMP) は、この度、小型 CAN-USB 変換モジュールの最新版を販売開始いたしました。

CAN-USB-Z は、2チャンネル対応の車載ネットワーク CAN (Controller Area Network) ポートを装備した小型インタフェースモジュールで、PC 等と接続し CAN 信号の送受信を手軽に行えるモジュールです。

CAN ボーレートは最大 1Mbps まで設定可能、同期信号入力や他機器への電源供給も可能、CAN 通信設定とデータ確認が可能なコンフィギュレーションツールも付属しています。今回の最新版で、複数の USB デバイスを用いる際の ID の固定が可能となり(*)、接続順番に依存しないアプリケーション開発が行いやすくなりました。

また、オプションの Viewer アプリケーションでは、CAN データから特定の ID を取り出し物理値などに変換するデータベース作成機能と、保存済みのログデータをテストベンチデータとして再生する機能が含まれます。

本製品は、当社公道走行データ収集サービス RoboTest において、車載 CAN や CAN 対応センサの情報収集に利用されております。また、自動運転技術開発プラットフォーム RoboCar MiniVan に搭載され、ZMP および各地での公道実証実験で使用されております。また、現在実証実験を進めている、宅配ロボット

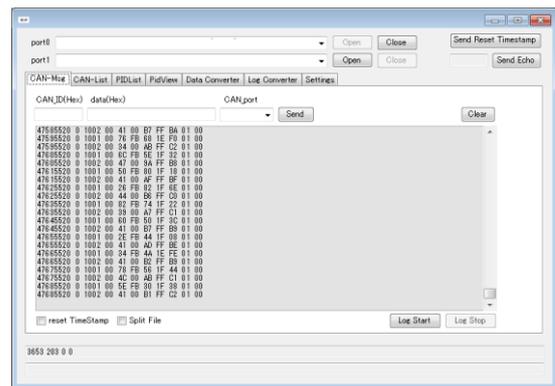
CarriRo Delivery でも各種センサ接続のインタフェースとして使用されております。自動車や車載機器、建機・農機など産業用機械の開発や実験における CAN バスの計測、車両データとセンサなど異なるチャンネルの CAN データの同期取得、といった用途ですすぐにご利用頂けます。

価格は、40,000 円 (税別) で本日より販売を開始致します。

(*USB ID の固定は、Linux のみ対応します。)



CAN USB-Z



コンフィギュレーションツール画面

【製品紹介 CAN USB-Z】

<http://www.zmp.co.jp/products/canusbz>

【特徴】

- ・2チャンネルの CAN インタフェースを装備した小型 CAN-USB インタフェース
- ・すべての CAN データの取得が可能
- ・USB バスパワー駆動
- ・5V 電源出力により他の機器に電源供給可能
- ・デジタル入力 (1チャンネル) により同期信号が入力可能



接続例



- 終端抵抗を内蔵(背面スイッチで設定)
- CAN 通信の設定と簡易モニタリングツール付属 (Windows)
- データベースで変換したデータを活用する API を用意
- (オプション) CAN データを抽出し物理値などに変換するデータベース作成ツール、ログデータ再生ツール (Windows)

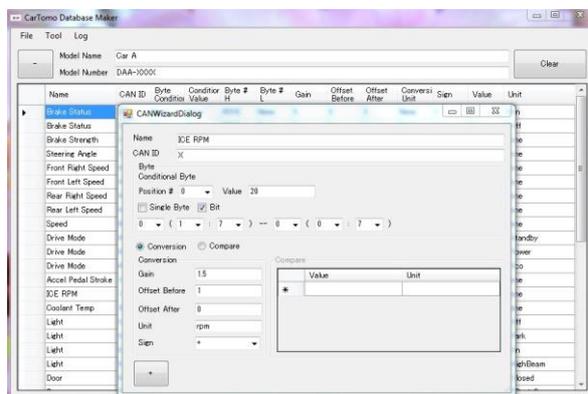
【価格】

ZMP CAN USB-Z 40,000 円(税別)

- CAN USB-Z 本体 × 1
- アプリケーション CD-ROM × 1
(コンフィギュレーションツール、ドキュメント)

ZMP CAN USB-Z & Viewer 90,000 円(税別)

- CAN USB-Z 本体 × 1
- Viewer アプリケーション CD-ROM × 1
(データベース作成アプリケーション、Player アプリケーション、コンフィギュレーションツール、マニュアル)



データベース作成アプリケーション画面

【主な仕様】

CAN チャンネル数	2 (D-sub コネクタ × 1)
CAN ボーレート	最大 1[Mbps](125, 250, 500, 1000[kbps]切替)
コントローラ	CAN2.0A, 2.0B (ID:11, 29[bit])
PC バスインタフェース	USB2.0(バスパワー給電)
IO インタフェース	デジタル入力 × 1(シュミットトリガー、最大 1[kHz]、最大 30[V]) アナログ入力 × 1(0-16[V]、12[bit])
タイムスタンプ	10[μs]
電源出力	USB バスパワー(5V)/EXT(最大 16V3A)
サイズ・重量	約 60×40×20[mm]、約 50[g]
アプリケーション	Windows 7/8
ドライバ	Windows 7/8、Linux
動作環境	-20~60[°C] ※結露なきこと

*USB ID の固定は、Linux のみ対応します。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP プラットフォーム事業部

TEL: 03-5802-6901 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



RoboCar® 1/10 RoboCar® MV2 RoboCar® MiniVan CarriRo® CarriRo® Delivery

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020 年の無人タクシー実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017 年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Delivery の実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。